

# 再就職 あきらめないで

## 高松で雇用情勢上向き セミナー 雇用情勢上向き

失業中の人や転職を考えている人を対象にした「再就職支援セミナー」(県、香川労働局主催)が15日、高松市林町のサンメッセ香川であった。県内の雇用情勢は持ち直しているというが、有効求人倍率は1を下回ったまま。参加者約20人は厳しい表情で講師の指導を受けていた。

参加者は求人情報の集め方や応募書類の書き方について、指導を受けたほか、これまでの職歴から自身の強みを探す



セミナーで講師からアドバイスを受ける参加者。高松市林町

「自己分析」もした。配属された部署や業務などの経歴を表にして自己評価をし、ほかの参加者の意見を聞くなどして応募書類や面接で使える実績や長所を見つけていった。セミナーは16日もあり、希望者は今月下旬、中途採用の予定がある県内各地の企業を見学する。

(千代明弘)

昨年3月に食品関係の会社を退職したという高松市の男性37は「食品関係の仕事を探しているが、なかなか見つからない。家庭もあるので早く安定した職を得たい。焦りはあるが、一生をかける仕事を見つけたらいい」と話している。がんばって就職活動を続けていきたい」と話していた。

県は2009年度から再就職支援セミナーと企業見学会をセットにして実施している。この日で通算4回目。毎回、東部地域と西部地域の2会場で開催しており、09年度の2回のセミナーには計96人が参加した。

県労働政策課の担当者は「依然として雇用環境は厳しいが、香川経済の基礎ともいえる製造業で新規求人数が8カ月連続で増えるなど、持ち直しの動きも始めている。あきらめなければ再就職の可能性は十分にある」と話す。

香川労働局によると、昨年11月の県内の求職者は2万913人で、求人数は1万9078人。有効求人倍率は0・79倍(全国平均0・57倍)。

◇  
今回のセミナーの西部地域の会場は丸亀市民会館で、22、23日に予定されている。定員40人。無料。参加者を募っている。問い合わせは県労働政策課(087・8332・3368)へ。